



**10月24日・市役所本庁舎
深谷市戦没者追悼式**

先の大戦で戦没された方々を追悼し恒久平和を願う、『深谷市戦没者追悼式』を開催し、遺族をはじめ多くの関係者が献花に訪れました。



**11月9日・藤沢小学校
栄一翁を給食でしのぶ『栄一のラポール給食』**

『ラポール』は、フランス語で『架け橋』という意味。児童たちは、栄一翁に関わりのあるフランス・深谷・富岡の3つの地を表現した献立を味わいました。



**11月9日・深谷小学校
日本の伝統芸能を体験！**

5・6年生を対象に行われた『歌舞伎』の鑑賞会。児童たちは、歌舞伎の知識を実演を交えて学んだあと、創作歌舞伎『牛若丸』の鑑賞を楽しみました。



**11月14日・深谷大河ドラマ館
深谷大河ドラマ館の入館者が10万人を達成！**

『渋沢栄一 青天を衝け 深谷大河ドラマ館』の入館者がついに10万人を超えました。10万人目となった家族には、深谷市の特産品などの記念品が贈られました。



**11月15日・L・フォルテ
心の輪を広げる『障害者文化作品展』**

障害のあるかたが作成した絵画・写真・手工芸品の作品展が、3日間開催されました。来場者は、趣味や創作力を生かした作品を楽しんでいました。



**11月18日・埼玉グランドホテル深谷
第16回市政功労者表彰式**

市政への功績が顕著なかたや団体を表彰する市政功労者表彰式が開催され、今年は67人、15団体のかたが受賞しました。



▲ライトアップで藍色に染まるJR深谷駅



▲献花式の参列者に深谷市歌などを披露する市立深谷幼稚園の園児



(左から時計回りに) (写真①) 市役所本庁舎1階の栄一翁胸像に献花をする来庁者 (写真②) 『にぼうと会』で栄一翁に関する作文を朗読する八基小学校児童 (写真③) 『大河ドラマ「青天を衝け」おかしれトークショーだにin深谷』で制作の裏話を繰り広げる、(左から) 脚本家 大森美香氏、渋沢史料館館長 井上 潤氏、制作統括 菓子浩氏、小島市長 (写真④) 藍色にライトアップされた栄一翁座像に献花をする来場者

**11月11日・JR深谷駅北口青淵広場ほか
没後90年の祥月命日に
渋沢栄一翁を顕彰**

渋沢栄一翁の祥月命日に合わせ、JR深谷駅前の栄一翁座像や市役所本庁舎の胸像への献花や、栄一翁の出身地区である八基公民館での『にぼうと会』などが行われました。

また夕方には、新型コロナウイルスと戦うすべての人々に応援の気持ちを込めて、JR深谷駅、栄一翁座像、東京タワーを藍色にライトアップする点灯式や、大河ドラマ『青天を衝け』の制作陣によるトークショーを開催。1日を通して、市内で栄一翁をしのぶさまざまな行事が行われました。

**11月14日・深谷市民文化会館
県民の日に“埼玉の偉人”
渋沢栄一翁の関連イベント**

埼玉県150周年の『埼玉県民の日』にちなみ、県の偉人である栄一翁が学んだ論語にまつわるシンポジウムと、大河ドラマ『青天を衝け』の放送を大スクリーンで観るパブリックビューイングを開催しました。



◀『渋沢栄一と論語のシンポジウム』の様子。落語家 三遊亭鬼丸師匠のトークショーに続き、登壇者が討論を行いました。



▶『大河ドラマ「青天を衝け」パブリックビューイングin深谷』の様子。栄一翁そっくりさんも登場し会場を盛り上げました。